

5 「平成9年度生まれの者」と「昭和42年度生まれの者」（親世代）の年間発育量の比較

平成27年度調査で「平成9年度生まれの者」と、30年前の昭和60年度調査で「昭和42年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

(1) 身長

身長の年間発育量について「平成9年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では「平成9年度生まれの者」が12歳～13歳および13歳～14歳でいずれも6.7cm、親世代は12歳～13歳で7.7cmとなっています。女子では、両世代とも10歳～11歳で、平成9年度生まれの者は7.0cm、親世代は7.1cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、両世代ともほぼ同じ時期となっています。

(図11、図12、表8)

図11 平成9年度生まれの者と昭和42年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)

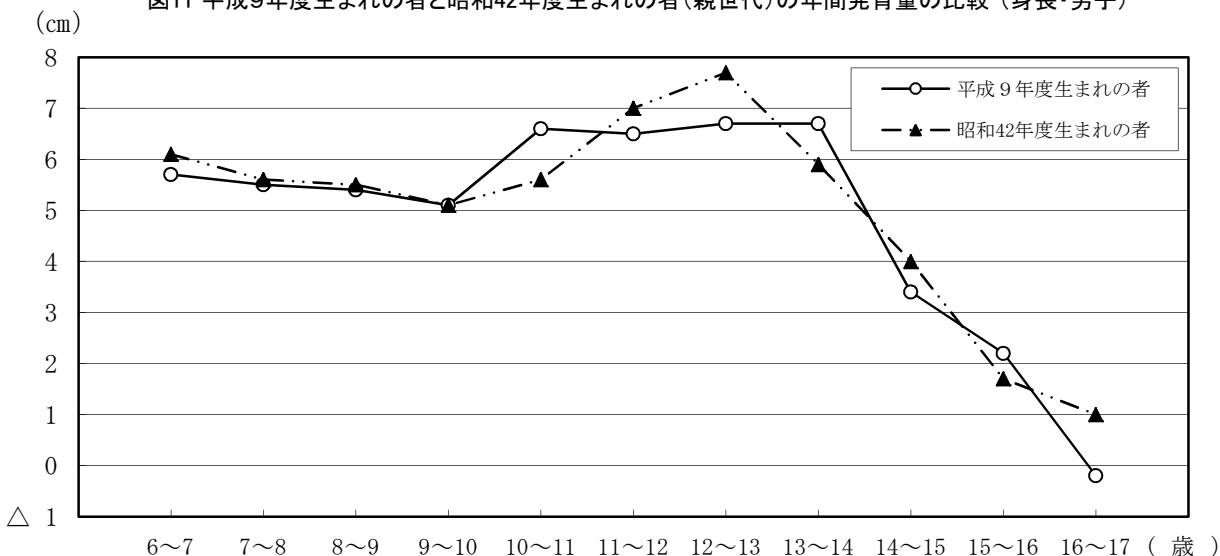
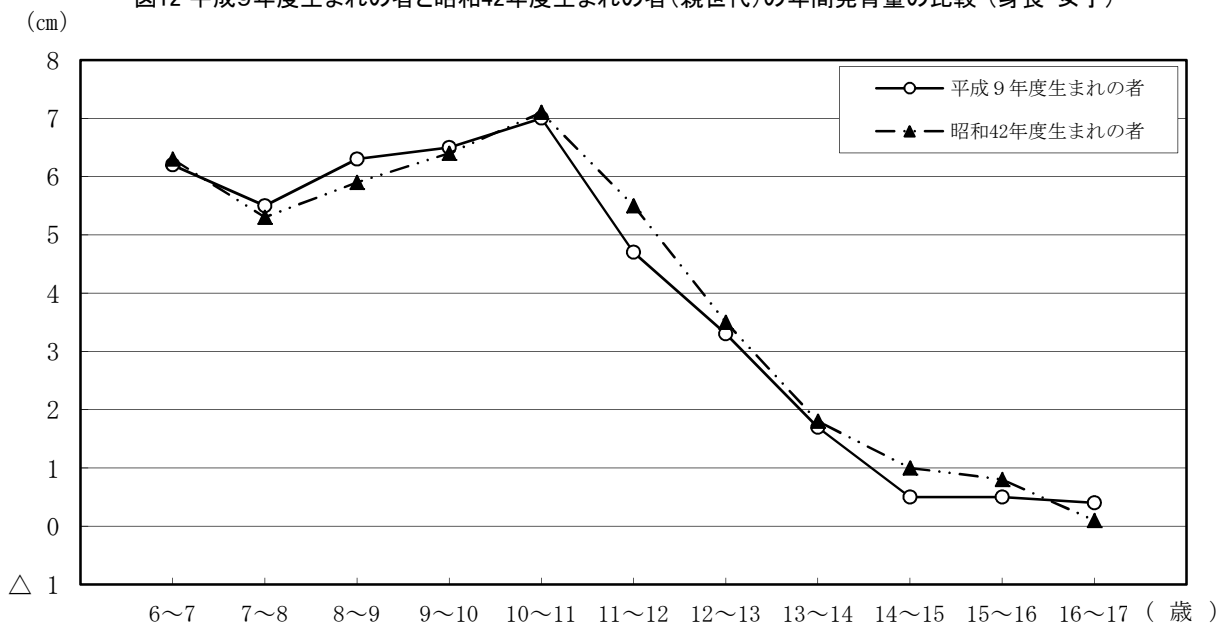


図12 平成9年度生まれの者と昭和42年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

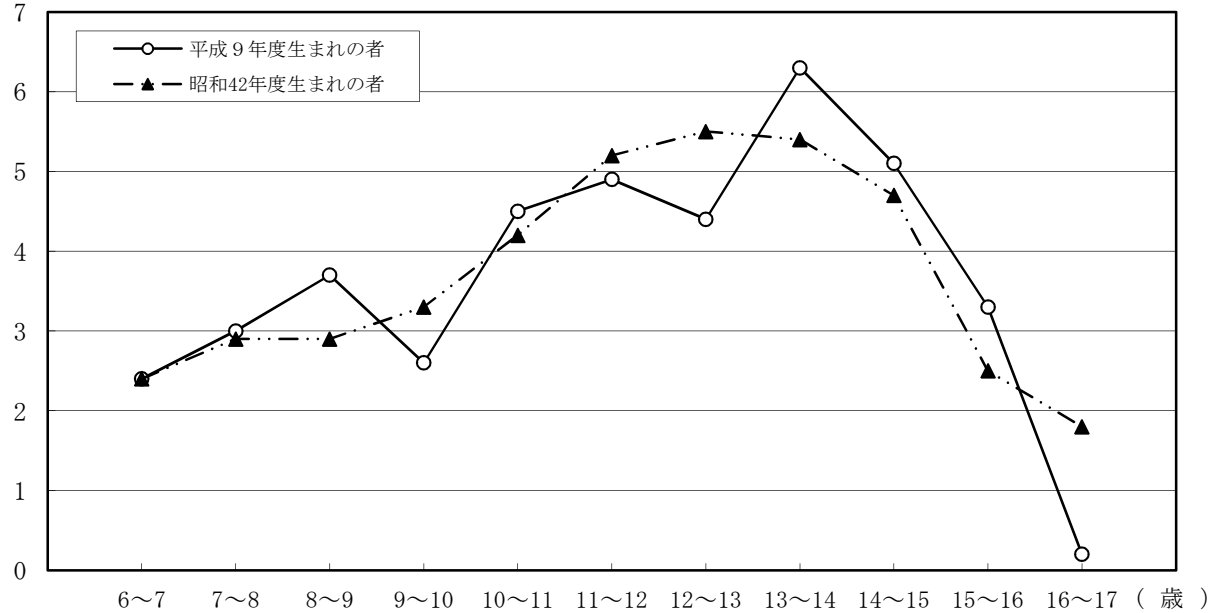


(2) 体重

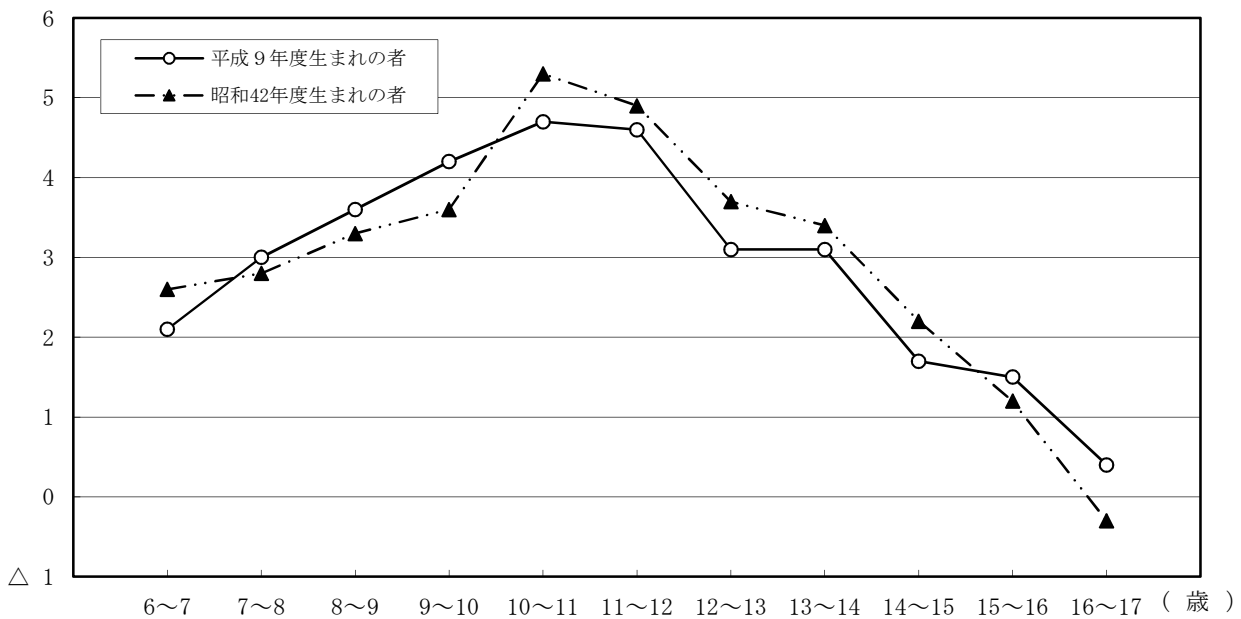
体重の年間発育量について「平成9年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成9年度生まれの者」が13歳～14歳で6.3kg、親世代は12歳～13歳で5.5kgになっています。女子では両世代とも10歳～11歳で、平成9年度生まれの者が4.7kg、親世代は5.3kgになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では「平成9年度生まれの者」が親世代より遅い時期となっています。一方、女子では両世代とも同じ時期となっています。（図13、図14、表8）

(kg) 図13 平成9年度生まれの者と昭和42年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図14 平成9年度生まれの者と昭和42年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間（小1～高3）の総発育量の比較

身長の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成9年度生まれの者」が親世代よりも男子は1.6cm、女子は1.1cm小さくなっています。

身長の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、発育量は男女ともに、いずれも親世代の方が大きくなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成9年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.4kg、女子は0.7kg小さくなっています。

体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男子の発育量は、小学校の時期は「平成9年度生まれの者」の方が大きいが、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。女子の発育量は、いずれも親世代の方が大きくなっています。（表8）

表8 「平成9年度生まれの者」と「昭和42年度生まれの者」（親世代）の年間発育量

性別	年齢区分	身長(cm)				体重(kg)				
		平成9年度生まれの者		昭和42年度生まれの者		平成9年度生まれの者		昭和42年度生まれの者		
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.7		6.1		2.4		2.4		
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.5		5.6		3.0		2.9		
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.4	34.8	5.5	34.9	3.7	21.1	2.9	20.9	
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.1		5.1		2.6		3.3		
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.6		5.6		4.5		4.2		
	11歳(小6)～12歳(中1)	6.5		7.0		4.9		5.2		
	12歳(中1)～13歳(中2)	6.7		7.7		4.4		5.5		
	13歳(中2)～14歳(中3)	6.7		5.9		6.3		5.4		
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.4	18.8	4.0	20.3	5.1	19.3	4.7	19.9	
	15歳(高1)～16歳(高2)	2.2		1.7		3.3		2.5		
	16歳(高2)～17歳(高3)	△0.2		1.0		0.2		1.8		
	11年間の総発育量	53.6		55.2		40.4		40.8		
	年間発育量の最も大きい年齢	12歳～13歳、13歳～14歳		12歳～13歳		13歳～14歳		12歳～13歳		
	女子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.2		6.3		2.1		2.6	
		7歳(小2)～8歳(小3)	5.5		5.3		3.0		2.8	
		8歳(小3)～9歳(小4)	6.3	36.2	5.9	36.5	3.6	22.2	3.3	22.5
9歳(小4)～10歳(小5)		6.5		6.4		4.2		3.6		
10歳(小5)～11歳(小6)		7.0		7.1		4.7		5.3		
11歳(小6)～12歳(中1)		4.7		5.5		4.6		4.9		
12歳(中1)～13歳(中2)		3.3		3.5		3.1		3.7		
13歳(中2)～14歳(中3)		1.7		1.8		3.1		3.4		
14歳(中3)～15歳(高1)		0.5	6.4	1.0	7.2	1.7	9.8	2.2	10.2	
15歳(高1)～16歳(高2)		0.5		0.8		1.5		1.2		
16歳(高2)～17歳(高3)		0.4		0.1		0.4		△0.3		
11年間の総発育量		42.6		43.7		32.0		32.7		
年間発育量の最も大きい年齢		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		

(注) ・年間発育量は、たとえば平成9年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成17年度調査の7歳の体格から平成16年度調査の6歳の体格を引いたものです。

・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。

・平成9年度生まれの者とは、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者で、平成16年度調査の6歳、平成27年度調査の17歳です。

・昭和42年度生まれの者とは、昭和42年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた者で、昭和49年度調査の6歳、昭和60年度調査の17歳です。